

2018年2・3月展示・館員おすすめの本

北欧を楽しんでみよう

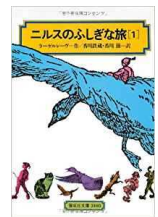


今年のセンター試験問題で話題になったムーミンやピッケ。アニメーションにもなっている有名な北欧の児童文学ですね。他にもやかまし村や長くつしたのピippiなど映画やドラマになっているおはなしもたくさんあります。ここでちょっと原作を読んでみませんか。映像とは違った場面が出てきたりと新しい発見ができるかも知れません。



ラーゲルレーヴ『ニルスのふしぎな旅』偕成社文庫 1995

いたずらっ子のニルスが妖精に小さくされて、ガチョウのモルテンと共に雁の群れに交じりラップランドまで旅をするお話。ニルスはこの旅で仲間と共に大切なものをたくさん学んでいきます。



トーベ・ヤンソン『たのしいムーミン一家』講談社 1996

ムーミン谷に住んでいるムーミントロールたち。スナフキンやスニフ、スノークのおじょうさん（年配者にはノンノン？）などの仲間との冒険などが書かれているファンタジーです。

リンドグレーン『長くつ下のピippi』岩波少年文庫 1995

「世界一つよい女の子」のピippi。そばかすと三つ編みのおさげ？と色違いの長くつしたの9歳の女の子が主人公です。明るくて、何にも縛られないピippiに周りの人たちは振り回されますが、なぜか憎めない女の子です。スウェーデン大使館のホームページにも紹介されています。



童話

リンドグレーン『山賊のむすめローニャ』岩波少年文庫 1994

アンデルセン『アンデルセン童話集』新書館 2005

ルーネル・ヨンソン『小さなバイキングピッケ』評論社 2011

絵本

マーシャ・ブラウン『三びきのやぎのがらがらどん』福音館書店 1965

イブ・スパンク・オルセン『つきのぼうや』福音館書店 1975

エゴン マチーセン『さるのオズワルド』こぐま社 1998

ノーラ・スロイエギン『ちびフクロウのぼうけん』福音館書店 2009

ほかにも

上原かなえ『北欧にならうかわいい切り紙』PHP 研究所 2008

小谷明『北欧の小さな旅』東京書籍 1995

明知直子『北欧スウェーデン暮らしの中のかわいい民芸』パ・インターナショナル 2014

